

日本語教育と 日本語教師養成

日本語教師の育て方

『超基礎・日本語教育』を使った日本語教師養成

2020.11.07

森篤嗣（京都外国語大学）

やってみよう！日本語教育

- 『超基礎 日本語教育』は日本語教育主専攻・副専攻で初めて日本語教育を学ぶ1年生対象
- 日本語教育の基礎知識 = 文法か？
- 「知る」ことももちろん大切ですが...
- 「やってみて」実感してほしい！



日本語教師養成と学校教員養成

- 学校教員養成は「文化的営み」としての学習指導の継承 = 自己の経験に基づく（スティグラール**2002**）
- 日本語教師養成は日本語母語話者の場合，日本語教育の授業を受けたことも見たこともないので，日本語教師養成は「体験」から始まる
- 知識や技術の前に「（授業）体験」を

本書の目次

- 第1章 日本語教育とは
- 第2章 日本語学習者とは
- 第3章 日本語教師とは
- 第4章 日本語能力の測定と試験
- 第5章 コースをデザインしよう
- 第6章 さまざまな教授法
- 第7章 学習レベルと教材・教具
- 第8章 学習者の目から日本語を見てみよう
- 第9章 ティーチートークとやさしい日本語
- 第10章 教室でのやりとりと学習者へのフィードバック
- 第11章 授業の流れを考えてみよう
- 第12章 〈実習①〉 日本語授業の見学
- 第13章 〈実習②〉 模擬授業の準備
- 第14章 〈実習③〉 模擬授業の実践とふり返し
- 第15章 これからの日本語教育

本書の構成

本書で学ぶ内容は大まかに4つのセクション・段階に分かれています。

- 第1章～第4章 日本語教育そのものや、日本語教師、日本語学習者、試験など日本語教育に関連する基礎的な知識を学ぶ。
- 第5章～第11章 具体的な授業の進め方、教案の書き方、教材についてなど日本語教育の技術を学ぶ。
- 第12章～第14章 <実習>日本語の授業を見学や模擬授業を通して実際に体験してみる。
- 第15章 これからの日本語教育と日本語教師としてのキャリアについて考える。

コラムもあります

コラム 01

日本語教師に向いている人

日本語教師に向いている人、それは「*****」です。



各章の構成

本書に収められた全**15**章はそれぞれ下記の順序で構成されています。

「この章のポイント！」 「キーワード」

➡ 「1.節：本文」 「課題1」 ➡ 「2.節：本文」 「課題」 ...

(節の数は各章で異なります)

➡ 「まとめ」 ➡ 「もっと知りたい人へ」 ➡ 「コラム」

アクティブラーニング対応

「課題」について

本書はアクティブ・ラーニングで授業が行えるように設計されています。ワークシートはこちらからダウンロードしてご使用いただけます。

超基礎 website : http://www.9640.jp/books_803/

課題には個人で取り組む課題とグループで取り組む課題があります。



課題 1

このマークがある課題は、個人で取り組む課題です。



課題 1

このマークがある課題は、(授業では)周囲の人と話し合ったり、グループワークで行うことを推奨する課題です。



「ヒント」では課題に取り組む際に、課題の背景や解決の手がかりなどを示しています。

このあとの流れ

第1部

- **14:20** 学習者の目から見た日本語（中石先生） **15分**
- **14:35** 教授法と教材・教具（太田先生） **15分**
- **14:50** 休憩 **5分**

第2部

- **14:55** 文型ベースのタスクベースの授業展開（小口先生） **30分**
- **15:25** やってみよう！教育実習（奥野先生） **10分**
- **15:35** 質疑応答、まとめ **25分**

最後に（「はじめに」の締め部分から）

本書執筆の7人は、私も含めて全員が日本語教師です。そして、日本語教育が持つ「伝えることの面白さ」を経験して、その魅力のとりこになった人間でもあります。日本語教師は言語扱う仕事ですが、まずは「伝える人（教師）」と「伝えられる人（学習者）」という人間関係の上に成り立っているのです。

「まずは日本語を教えることを体験してみよう！」これが著者一同からのメッセージです。あなたが日本語を教えることの楽しさに気づき、私たちの仲間になってくれることを強く願っています。
→みなさんには仲間を増やすお手伝いをお願いします

参考文献

- Stigler, J. W., and Hiebert, J. (1999). *The teaching gap: Best ideas from the world's teachers for improving education in the classroom*. New York: Free Press. [ステイグラール・W・ジェームズ, ヒーバート・ジェームズ(著), 湊三郎(訳)(2002)『日本の算数・数学教育に学べー米国が注目するjugyoukenkyuu』教育出版]